

積み木で広がる遊びの世界

ひがしっこクラブサマーでは
それぞれが好きな遊びを存分に楽しんでいます。
その一つが“積み木”
夢中になって没頭したり
積んで高さを競争するわくわく感や
友だちの真似っこをして“おんなじ”の面白さ、
やりたいことを伝え合いながらイメージを表現する嬉しさを
味わったりと、
いろいろなことを体験していますね。
こちらは年少のお友達。



「入れて入れて～」
「もっともっと～」と、とにかく隙間を埋めていくことが楽しい！
きゃっきゃと笑い合っていました。
大人からすると、一見何をしているのかなと思う遊びも、子どもたちにとっては、共感し合える面白い時間なのです。

こちらは年中のお友達。

「ねえねえじゃここは、やおやさんにしない？」

「いいね。」

「じゃもうちょっと広くする？」

「あっても、こっちにくだもの屋さんもあるから、やっぱり狭くしよう」と、

お店が並ぶ街を作り始めていました。



友達の一言で自分のイメージが広がり、また新しい考え生まれてきて・・・と、その嬉しさを感じながら遊んでいることが伝わってきました。

最後に、年長のお友達。

2, 3人ずつ好きなものを作って遊んでいました。

先生が

「何作ってるの?へえ、からくり屋敷か～」

「こっちはどこまでもいける線路か～」と、

互いの作っているものに感心していると、

「そうか!ぼくたちのサマーアドベンチャーだ!」と一人のお友達。

「いいよ、ここがホールってことね」と、続けてまた一人。

それぞれにつくっているもののイメージが分かると、

自分たちが先日経験した楽しかった行事と、

今作っているもののイメージをつなげた遊びへと変化させていきました。



“積み木”で広がる遊びは

日によっても

遊ぶ友達によっても

いろいろに展開され

探求したり

表現したりする姿がたくさん見られます。

また明日のひがしっこクラブでも、

どんな遊びがはじまるのか楽しみです。

副園長(総主任)